

バーチャル株主総会プラットフォームの新規提供が増加

～6 月 28 日時点で提供実績 2 社の増加～

株式会社 FISCO Decentralized Application Platform (本社: 大阪府岸和田市、代表取締役: 城丸修一、以下、「FDAP」)は、バーチャル株主総会プラットフォームの提供実績が 2 社増加したことをお知らせいたします。

■バーチャル株主総会プラットフォームについて

株主さまが株主総会会場にご来場いただかなくても、インターネット上でバーチャルに株主総会に出席できるシステムです。

企業さまと株主さまの双方に本プラットフォームを利用いただくことで

- ・株主総会の視聴ができる「参加型」
 - ・株主総会の視聴、議決権の行使、質問投稿ができる「出席型」
- のバーチャル株主総会を実現いたします。

バーチャル株主総会プラットフォーム紹介サイト URL

<https://www.fisco.co.jp/shareholders/index.html>

■FDAP による Dapps 事業について

FDAP は複数の Dapps (ブロックチェーン上でソフトウェアを動作させる分散型アプリケーション)を保有しており、各アプリケーションからキャッシュ・フローが生まれるようになっています。

具体的には、FSCC レンディング、バーチャル株主総会プラットフォーム、株主優待プラットフォーム等のアプリケーションがあります。

アプリケーションで得た収入の一部は、フィスココインの購入資金やフィスココイン (FSCC) レンディングの貸借料に充当されます。

FDAP では、今後も FSCC の利用範囲の拡大と、DApps、DeFi (Decentralized Finance: 分散金融/分散型金融、※1) の概念を活用した新規ビジネスの創造を目指してまいります。

(※1) Decentralized Finance の略語。金融分野における DApps。非中央集権の暗号資産交換所やデリバティブ、レンディング等のサービスがあり、最も注目される分野の一つです。

【株式会社 FISCO Decentralized Application Platform の概要】

所在地: 大阪府岸和田市荒木町二丁目 18 番 15 号

設立日: 2017 年 9 月 12 日

資本金: 75 百万円 (2021 年 12 月 31 日現在)

代表者: 代表取締役 城丸 修一

事業内容: 暗号資産を含む運用、アプリケーションの開発・運用等